



○：捜査用の似顔絵を描く体験イベントは31日、富

山市科学博物館で開かれ、小学6年生とその家族23組が、特徴を捉えた人物描写のこつを学んだ。写真。

○：不審者の似顔絵が捜査の手がかりになることを



知ってもらおうと、富山大エコチル調査富山ユニットセンターが企画。県警鑑識課員が講師を務めた。

○：土田夏星さん(11)は「犯人を目撃したら、記憶が薄れないよう、すぐにメモする」。学びの成果を語る姿は、若手捜査官のように頼もしかった。